



桜吹雪の中、校内には笑顔と活気が漲り、新年度のスタートです。
2014年度は、光塩にとって、学校の新しい始まりとなりました。生徒一人ひとりが、ゆとりを持って「学び」に集中できるよう、完全週6日制に移行します。一日の間に沢山のものを詰め込むのではなく、リズムをつけて学校での学習を行えるように工夫しました。

水曜日の午後には補習・特別講座を設け、日々の学習を再確認するための補習と、更に学びを深めるための特別講座とを用意しています。特別講座には学年を越えて選択できるものもあるので、上級生と下級生が互いに刺激あって学習できるでしょう。この特別講座に、私は大きな期待をかけ、生徒自身の学びが充実していくことを望んでいます。

光塩が最も大切にしている「あなたは世の光です、あなたは地の塩です」という建学の精神は変わりません。一人ひとりが自身の存在意義を、明確に自覚することが大切です。今年度の学校目標は、昨年を引き続き「共に生かされている私」とします。なぜなら、「共に生かされている私」であることを理解し、信じ、確信し、これを実践して生きることは、言葉で観念的に表現するよりも、はるかに難しく実感しにくいことが多いと思うからです。この「共に生かされている」という受けとめ方は、キリスト教はもとより、親岩の中心的思想の一つ「他力」と相通じる部分があります。洋の東西を問わず、人間的成長の基盤となる普遍的価値観として、更に深めていくことを期待しているのです。

学校目標「共に生かされている私」を、具体的にイメージし実行しやすいように、学期ごとのサブテーマを次に記します。

1学期は、「笑顔であいさつ」:

笑顔によって元気づけられ勇気をもらい、笑顔に生かされている

2学期は、「おもいやり」:

他者と思いを共有し、行動に移す

3学期は、「もう一人の友と共に」:

喜んで人のために生き、社会に対してはノーブレス・オブリージュを果たす

この一年が、生徒一人ひとりにとって実り多いときとなりますよう、神様のお恵みを祈ります。